

H26年度シラバス(H20年度入学者からが対象)

授業科目の区分		選択		講義番号		712010		
授業科目		脳卒中特論(2単位) Lecture : Cerebral stroke		授業担当責任者		伊達 勲 教授 所属:脳神経外科学 内線:7332		
対象年次		1年次, 2年次		講義室		基礎医学棟(旧基礎棟) 2階 大学院第1講義室 <b>土曜日、時間外の講義室のある建物への入館には、学生証(ICカード)が必要です。</b>		
講義の概要		本プログラムの特徴は、脳卒中に関する基礎的講義と臨床的講義の両者に参加できることにある。細胞レベルでの脳卒中のメカニズムから、実際の臨床で行われている脳卒中の治療までの広い領域を学ぶことで、脳卒中を基礎・臨床の広い視野から研究する力をつける。						
学習目標		基礎・臨床の両面から脳卒中に関する最新の知識を学習し、これを自立した研究者として自身の研究に生かすことを目標とする						
成績評価方法		授業科目に関する知識を集中的に学ぶため、すべての講義に出席することを基本とする。 成績の評価及び単位の認定にあたっては、小テスト、レポートの他、2/3以上の出席(10コマ以上)を必要とする。 <b>大学院生の講義への出席確認は、「出席カード」による。の授業科目終了後1週間以内に「出席カード」の正本を担当窓口へ提出すること。</b> <b>(注)この科目は、単年度ごとに単位認定される科目です。複数年にわたって履修し単位取得することはできません。(例えば、ある年度に7回出席し、翌年度に7回出席しても単位認定されません。翌年度は新規の履修となります。)</b>						
番号	月日	曜日	時限	時間	担当講座等	担当教員	講義題目	講義内容
1	10月4日	土	1	8:40-10:10	脳神経外科学	市川 智継	先端脳手術	脳虚血モデル細胞・動物から単離した抵抗性タンパク質の機能とその作用機序、ならびに神経変性疾患への関与について解説する。
2	10月4日	土	2	10:20-11:50	生化学	竹居 孝二	神経細胞の細胞内膜輸送	細胞内膜輸送について概説する。さらに、神経細胞のシナプス伝達に関わる、シナプス小胞の細胞内膜輸送(分泌、取込み、再生)について、その分子機構を解説する。
3	10月4日	土	3	13:00-14:30	脳神経外科学	菱川 朋人	くも膜下出血後の脳血管攣縮の病態と治療	くも膜下出血の疫学、原因とその最大の合併症である脳血管攣縮の診断、検知、最新の治療について解説する。特に、脳血流測定、脳血管造影などによる脳血管攣縮の診断法や血管拡張薬などを用いた最新の治療を中心に紹介する。
4	10月4日	土	4	14:40-16:10	脳神経外科学	杉生 憲志	脳卒中に対する脳血管内治療の現状と展望	脳血管内治療は、カテーテル等の特殊器材を使用して脳血管性病変を治療する最新の低侵襲手術である。実際の治療を具体的に紹介するとともに、今後の展望について解説する。
5	10月4日	土	5	16:20-17:50	脳神経内科学	出口健太郎	脳梗塞予防における生活習慣病対策の重要性	脳卒中の予防には生活習慣病のコントロールが極めて重要である。高血圧や高脂血症、糖尿病などのコントロールについて脳卒中との関連で論ずる
6	10月11日	土	1	8:40-10:10	脳神経内科学	出口健太郎	脳虚血後の脳保護療法・遺伝子治療と脳再生療法	脳梗塞治療に重要な脳保護療法や新治療法について病態に基づいた解説を行なう
7	10月11日	土	2	10:20-11:50	脳神経内科学	出口健太郎	脳梗塞急性期の血行再建療法の実例	脳梗塞急性期治療におけるtPAを用いた血行再建療法について実例を基に功罪を論じる
8	10月11日	土	3	13:00-14:30	口腔機能解剖学	杉本 朋貞	ラット新生仔における1次知覚ニューロンの細胞死	ラット新生仔における1次知覚ニューロンの細胞死について解説し、実験的に誘発されるアポトーシスと caspase 活性化の関連を議論する。
9	10月11日	土	4	14:40-16:10	細胞生理学	松井 秀樹	タンパク質セラピー法による脳保護剤等の開発	脳卒中における遅発性神経細胞死について概説する。さらに岡山大で開発された新規技術である蛋白質セラピー法の原理とそれを応用した脳保護薬の開発について解説する。
10	10月11日	土	5	16:20-17:50	神経ゲノム学	(筒井 公子) 佐野 訓明	脳を構成する神経細胞の基礎知識	神経幹細胞から成熟した神経細胞に至る過程を概説し、脳の領域により異なった機能と特徴的な分布を示す神経細胞について解説する。
11	10月25日	土	1	8:40-10:10	脳神経外科学	伊達 勲 亀田 雅博	脳梗塞に対する再生医療	幹細胞移植や電気刺激を用いた脳梗塞に対する再生医療について解説する
12	10月25日	土	2	10:20-11:50	精神神経病態学	寺田 整司 大島 悦子	脳血管障害と認知症	脳血管性認知症およびその病型分類に関する最近の考え方と臨床的問題点を解説し、さらに神経変性型認知症における脳血管障害合併の問題を検討する
13	10月25日	土	3	13:00-14:30	小児神経科	小林 勝弘	小児の脳梗塞:その多彩な病態	小児期の脳梗塞の原因は多彩で成人とは異なる。ミトコンドリア脳筋症などの代謝疾患、もやもや病など小児に特有な疾患を中心に病態生理を解説する。
14	10月25日	土	4	14:40-16:10	神経情報学	浅沼 幹人	内在性酸化機構、グリア細胞と神経保護薬	広く神経細胞死における酸化ストレス、グリア細胞の動態を概説し、内在性酸化機構やグリア細胞(ミクログリア、アストロサイト)をターゲットにした神経保護薬(候補)について解説する
15	10月25日	土	5	16:20-17:50	臨床薬剤学	千堂 年昭 河崎 陽一	脳虚血疾患等の意欲低下に伴う新規薬物評価系モデルの開発	脳卒中後遺症の意欲減退に伴う神経機構について概説し、その意欲減退改善薬の実験的評価系モデルの開発と意欲減退に深く関連した快・不快情動に伴う神経細胞の変化について解説する。
授業科目と研究活動との関連		細胞レベルでの基礎的学習から臨床現場での最先端の治療までを学ぶことによって、基礎研究、臨床研究双方の研究活動に極めて有益となる。						